

卒業生が、がんばっています！

19 岐阜総合 2018年(平成30年)8月14日(火曜日) 中

白鳥中 初戦で敗退

中部軟式野球開幕 反撃及ばず

第四十八回中部日本地区選抜中学軟式野球大会(中日新聞社など主催)が十三日、三日間の日程でナゴヤドームで開幕した。初出場の県代表・白鳥中(郡上市)は二回戦から登場し、新潟の新井中に2-5で敗れた。

5点を先制された白鳥中は三回、長谷川恵渉主将(三年)の中前適時打、三輪拓人選手(二年)の犠飛などで2点を返す。三回か

▽二回戦
白鳥中 00200000
新井中 0500000x 52
(白尾藤、藤代三輪、新加藤、鷺沢)

「負けてしまったけれどナゴヤドームに来て、たくさんの方に応援してもらった。三年間で一番楽しい試合だった」。白鳥中の長谷川恵渉主将(三年)はくもりのない表情で言い切った。

5点差で迎えた三回、無死三塁の場面。「ランナーを絶対かえす」と、強い気

ら登板した藤代陸叶選手(同)も無失点に抑える好投を見せたが、以降、打線が封じられた。

声援受け適時打
「二番楽しい試合」
3年・長谷川主将

白鳥中―新井中 3回表白鳥中無死三塁、適時打を放ちカッツポーズする長谷川主将。名古屋市長区の名古屋ドームで

持ちで打席へ。内角低めの直球を振り抜き、適時打を放った。

チームは、春の県大会以降、練習試合で負けが続いていた。ミーティングを重ね、何が足りなかったのか繰り返し話し合ってきた。仲間の失敗には「惜しかったね」「次は頑張ろう」と、主将として声を掛け続けた。

中学生生活では、これが最後の試合になる。「最後まで諦めず、みんなと全力でプレーできてよかった」と振り返る。北洞貴央監督(四毛)は「チームをよくまとめ、みんなからの信頼も厚かった。主将として、よくがんばってくれた」とねぎらった。(鳥居彩子)

白鳥中学校野球部の活躍が、8月14日の中日新聞で取り上げられました。

しろとりちゅうがっこう やきゅうぶ なごや おこな
白鳥中学校の野球部のみなさんが、名古屋ドームで行われた

たいかい ぎふけん だいひょう さんか にいがたけん
大会に、岐阜県の代表として参加しました。おしくも、新潟県の

だいひょう ま やきゅう つか
代表チームに負けてしまいましたが、プロの野球チームが使う球場で、さいごまであきらめず全力でプレーすることができました。

おおなかしょうがっこう そつぎょう おお
このチームには、大中小学校を卒業したせんぱいたちが多く入っています。せんぱいたちががんばっています。わたしたちも、せ

んぱいたちのように、「さいごまであきらめず全力でやりきること」を

うんどうかい たいせつ
運動会などで大切にしていきたいですね。